

週報 第3242回

会長 上田 秀朗 副会長 渡辺 万寿
幹事 西田 佳郎 SAA 西端 政博

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2024年4月26日) 第3242回

■ プログラム

「私の履歴書」 今井 康隆 会員
卓話 道正田 均 会員

■ 次週のプログラム

5月 3日: 定款の規定により例会休会

■ 今後の予定

- 5月10日: クラブフォーラム
渡辺 万寿 会長エレクト
- 5月17日: 卓話担当 瀧谷 達 会員

■ 祝 誕生日

渡辺 万寿(27日)
八木 昌彦(9日)

■ 今月のロータリーソング

手に手つないで

今月の歌

おぼろ月夜

菜の花畑に 入日うすれ
見わたす山の端 かすみ深し
春風そよ吹く 空を見れば
夕月かかりて においあわし

■ 先週の例会



会長の時間 上田 秀朗 会長

皆さんこんにちは、今日の会長の時間は桜のお話です。この6日7日ぐらいがちょうど満開でしたね?開花を告げる桜前線というのはマスコミの造語らしいのですが、だいたい3月の20日頃高知県を出発して、確か大阪は3月30日ごろだったでしょうか?札幌には4月20日ごろ到達します。南北に長い日本列島を約一ヶ月かけて北上します。ちょうど今頃は青森県に到達したかしないかだと思います。途中福島県田村郡に三春町というところがあり、ここは梅と桃と桜がほぼ同時に開花し、それが三つの春、三春の地名の由来ともなっています。三春には樹齢1000年ともいわれる「滝桜」が

あります。三春の「滝桜」だけでなく日本各地には名物桜がたくさんあります。各地で桜祭りが催され、お花見で賑わいます。今日は何故こんなに桜が日本人に愛されるようになったのかを考えてみたいと思います。

先ず稲作が始まったといわれる弥生時代には、満開の桜には田の神が宿り、田植えから収穫までを見守ってくれる存在としてあがめられました。桜が満開になる時期を基準にして稲作を開始していたと考えられます。その後、奈良時代に入ると、大陸文化の流入により、中国で愛好されていた梅が貴族の間でもはやされるようになりました。それは「万葉集」に詠まれた歌の数にも表れており、桜43首に対し梅110首。やがて平安時代になり、国風文化の推奨により、もともとあった桜をめぐる習慣は「花宴の節」という宮中定例行事ともなりました。その様子は「源氏物語」第八帖『花宴(はなのえん)』にも描かれています。はたして今回の大河ドラマでは登場するでしょうか？これを反映し「古今和歌集」では梅が18首に対し桜70首と歌の数でも逆転します。「花見＝桜」が定着したのはこのころのことです。しかしまだまだ貴族の上品な遊びでした。さらに鎌倉時代には武士の間でも花見が行われるようになり、桜の木の下で宴会をするスタイルが確立します。ただ吉田兼好の「徒然草」では「酒を飲み連歌をして大騒ぎをしている」と皮肉っています。そして安土桃山時代になると豊臣秀吉による大掛かりな花見が登場します。1594年の「吉野の花見」は、1000本もの桜を大坂から吉野の山に移植し、徳川家康、前田利家、伊達政宗ら有力武将ら5000人を招き、5日間続く壮大な規模であったと記録されています。ついに江戸時代に入ると、歴代徳川将軍は桜を移植して桜の名所を江戸の各所につくります。このころになると花見はすっかり庶民のものとなっていました。

しかし、なんといっても桜が日本国中に広まる転機となったのが栽培種「ソメイヨシノ」の普及です。「ソメイヨシノ」は、江戸末期から明治初期に染井村(現在の東京都豊島区駒込・巣鴨付近)に住む植木職人たちによってつくられました。この染井村、大名屋敷の庭園管理をする職人の集まる江戸の一大園芸センターでもありました。この「ソメイヨシノ」は、母種エドヒガンの葉よりも先に大量の花をつける特徴と、父種オオシマザクラの成長が早いという両方の特徴を受け継ぎ、明治以降、あるいは戦後、爆発的に全国に普及しまし

た。実に全国の桜の7割が「ソメイヨシノ」だといわれています。ところで皆さん、自分の家の桜も御近所の桜も公園の桜もほぼ同時に咲くのを不思議に思ったことはありませんか？それは何故かということ、「ソメイヨシノ」は元々1本の殖木(たねぎ)からの接ぎ木、挿し木で増やされていきました。そうです。もうお分かりの方もいらっしゃるでしょう。実は日本中の「ソメイヨシノ」はすべてクローンなのです。ですから咲くのも散るのもシンクロナイズするのです。

日本人が桜を愛する理由の一つに桜は春の訪れを象徴する花であることが挙げられます。四季の変化がはっきりしている日本では、寒さが厳しい我慢の冬が終わり、様々な物事が始まりを迎える春は待ち遠しく、うきうきこころおどる季節です。入学式も入社式もこのころです。そしてもう一つの理由は「桜の生き様」にあります。何か月も前からずっと、桜の満開を心待ちにしていたにもかかわらず、その爛漫と美しい桜は2週間程度でむなしく散ってしまいます。美しく咲く姿は永遠ではなく、儚さ、残酷さに無常さえ感じます。それは我々日本人が歴史の中で培ってきた「一瞬の美学」「刹那の美」「朽ちていく美学」という美意識そのものでもあります。桜を通して、実は我々は「日本の心」に浸っているのです。

今日の会長の時間は以上です。

幹事報告

西田 佳郎 幹事

- 来週4月19日(金)は、定款第7条第1節の規定によりまして、例会休会となっております。
- 来週4月16日(火)は、事務局お休みとなっております。

委員会報告

本日例会終了後、みやびの間にて委員会を開催致します。委員会メンバーの皆さん、よろしくお願いいたします。

(瀧谷 達 親睦活動委員長)

■ ビジター

なし

■ 出席報告 会員数44名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
4/12	37名	7名	—	84.09%
3/22	37名	7名	3名	90.91%

■ メークアップ

榎本(4/4 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

前山(4/5 理事役員会)

川崎(3/26 献血共催活動)

■ ニコニコ箱

- ・岡本さん、川崎さん、本日はよろしくお願ひします(上田)
- ・川崎様、岡本様、本日「私の履歴書」宜しくお願ひ致します(西田)
- ・川崎様、岡本様、本日の卓話よろしくお願ひします(西端)
- ・誕生日のお祝ひありがとうございます(細川)
- ・欠席のおわび(道正田)
- ・欠席のおわび(川崎)
- ・前回例会欠席のおわび(小野寺)

ニコニコ箱合計	16,000円
累計	571,000円

■ お誕生日



上田 秀朗 会員(18日)



細川 嘉則 会員(13日)

先週のプログラム

▶ 「私の履歴書」



川崎 久典 会員



岡本 笑明 会員

昨年に、瀧谷さんからご紹介いただき入会させていただきました。

私は昭和43年8月8日東雲町で生まれました。今年56歳になります。

父方の親戚は東雲町で毛布や電気毛布の会社を営み、母方は西港町でセーターの会社を営んでいましたので、幼少期は毛布やセーターの中が遊び場でした。

その後5歳で父の転勤で名古屋へ行き、学生時代を名古屋で過ごしたり、シンガポールで過ごしたりしました。出産とともに泉大津に戻りました。

父のおかげで世界を見る事ができ感謝しています。

お仕事は、3つのお仕事をしています。

1つ目は、結婚式の仕事を38年間していて、最初はチャペルのオルガニストを14年、その後司会者になり、24年前にウエディングプロデュースの会社を立ち上げ、今も現役でウエディングプランナーとしてプロデュースと司会をしています。

プロデュースは、しきたりに添った結婚式も、もちろんしていますが、特に他ではできないような、面白いウエディングプロデュースのご依頼が多く、東映太秦映画村での結婚式や、海辺での結婚式、キャンプ場や造船所跡地でのウエディング、またシーパsparkで結婚式など、ゲストの方々にワクワクしてもらえるような結婚식을プロデュースしています。

ですが、8年前人生のどん底を迎えました。「結婚式したくない人が結婚式をしたくなる結婚式」をコンセプトに突き進んできましたが、色々な方々からの助言を聞きすぎて、自

分の思いに自信が持てなくなったとき、事業も傾き始め、心も不安で溢れ、泣いて過ごす毎日でした。

そんな時に、四柱推命をわかりやすく動物に例えた個性心理学という学問に出会います。

人は生まれる前に、封筒を手渡されると聞いたことがあります。

その中には、使命が書かれてあり、その封筒を開けずに亡くなる方が大半だそうです。

個性心理学に出会えたことで、私の使命が書かれた封筒を開けることができ、そこから自分の思いにブレることなく自信を持って進めば進むほど、人生は好転していきました。

その経験から、今度は伝える側になり全国を講演活動で現在も回り2つ目のお仕事として講演やセミナーや四柱推命鑑定士として活動しています。

3つ目は昨年4月から市議会議員として地域のために活動させていただいています。

地域のお困りごとや課題に対して、動けば動くほど解決していくことや、地域のための良い事を提案し、それが形になっていくことに喜びを感じています。

平日はほぼ地域の事で動き、週末はイベントに顔を出したり、全国へセミナーや講演に出向いたり、結婚式のプロデュースや司会をしたり365日パズルのピースのようにはまり動いています。でも、全部自分が本当にやりたい天職なので、楽しんで動いています。

プライベートは今年5歳と1歳になるお孫ちゃんがそばにいてくれてプライベートともに充実した毎日です。

今日までの間、人生をもう終わらせたいと思うほどの苦しみを経験しましたが、今思えば、今の自分があるための未来からのギフトだったと感じます。

これからも、結婚式でたくさんの人を笑顔にし、講演やセミナーでたくさんの人に使命をお伝えして笑顔にし、地域の方々が泉大津で暮らせてよかったと思える街づくりをしていきたいと思っています。

ありがとうございました。